

取扱説明書

EK SPACE
ek X space

助手席ムービングシート

このたびは、助手席ムービングシート仕様車をお買い上げいただきありがとうございます。

- ◎お車を安全、快適にお使いいただくため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
- ◎「ご使用前に読みましょう!」は取り扱い時の要点を記載しています。しっかりお読みください。
- ◎お車は取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。「警告」「注意」は安全のために特に重要です。よく読んでお守りください。
- この取扱説明書は、助手席ムービングシートの専用装備に関する取り扱いについて説明しています。その他の取り扱い（お車の一般的な取り扱い）については、三菱自動車工業（株）発行の標準車「取扱説明書」で説明してありますので、必ずお読みください。
- この取扱説明書の中で使用されている記号は、次のようになっています。

 警告	安全のために必ず守っていただきたいこと。 守らないと生命の危険又は重大な傷害につながるおそれがあります。
 注意	安全のために必ず守っていただきたいこと。 守らないと傷害又は事故につながるおそれがあります。
 アドバイス	お車のために守っていただきたいこと。 守らないとお車や装置の破損につながるおそれや正規性能を確保できないことがあります。
 知識	お車を使う上で知っておいていただきたいこと。 知っておくとお車や装置を上手に使うことができ便利です。

- この取扱説明書は、常にお車の中に保管しておいてください。
- お車をおゆずりになられるときは、次に所有される方のために、本取扱説明書をお車につけてお渡しください。
- お車の仕様変更により、本取扱説明書の内容やイラストとお車が一致しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- 特別仕様車については、本取扱説明書の内容がお車と一致しない場合や説明されていない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

目次

ご使用前に読みましょう！	2
助手席ムービングシート	2
イラスト目次	5
助手席ムービングシートの使いかた	6
各部の名称	6
機能説明	6
乗車するとき	8
降車するとき	17
ワイヤレスリモコン	18
胸部固定ベルトの使いかた	21
取り付けかた	21
着用のしかた	23
車いす固定用ゴムネットの使い方	24
固定可能な車いすサイズの目安	24
使いかた	25
万一のとき	28
ムービングシートが動かなくなったとき	28
警報ブザーが鳴ってムービングシートが停止した場合	29
緊急時の処置(A)昇降スイッチ操作での格納、(B)制御システムのリセット(復帰)	30
緊急時の処置(C)手動での格納	34
ヒューズ・ヒューズブルリンク・サーキットブレーカーの位置	38
助手席ムービングシートの点検・お手入れ	40
お手入れ	40
バッテリーの点検等をするとき	40
定期点検整備	41

ご使用前に読みましょう！

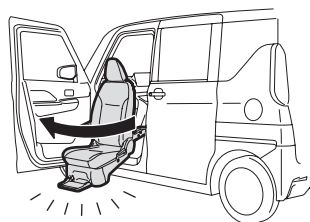
助手席ムービングシート

傾斜のない場所で使用する

- ・ムービングシートは傾斜のない平坦な場所で使用してください。傾斜のある場所で使用すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

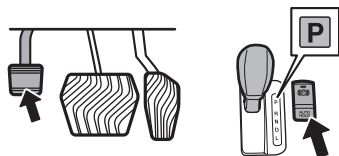
スペースがある場所で使用する

- ・ムービングシートを使用するときは、車両左側に十分なスペースがある場所を選んで、助手席ドアを全開にしてください。ドアを全開にしないと、身体やシートがぶつかり、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、強風のときはドアが風にあおられ、閉まるおそれがありますので注意してください。



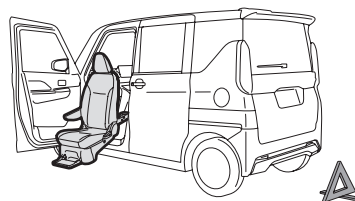
パーキングブレーキは確実に

- ・ムービングシートを使用するときは、安全のためパーキングブレーキを確実にかけ、セレクトレバーをP位置にしてください。



路上や夜間の操作は周囲に注意

- ・ムービングシートを路上で操作するときや、夜間に操作するときは、周りの通行や車両に注意してください。必要に応じて、停止表示板(別売り)又は、停止表示灯(別売り)を置いて、後続車に注意を促してください。



ムービングシートの格納を確認！

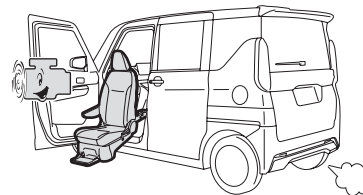
- ・ムービングシートを格納するときは、ムービングシートが完全に格納して停止し、警報ブザーが“ピピッ”と鳴るまでスイッチを押し続けてください。ムービングシートを回転途中で止めると、衝突時などにムービングシートが動いたり、シートベルトが首にかかって、重大な傷害につながったりするおそれがあります。



助手席ムービングシート

連続使用時はエンジンをかける

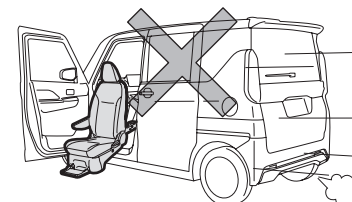
- ・ムービングシートを連続して何回も使用するときには、“バッテリーあがり”を防止するため、必ずエンジンをかけてください。



- ・冬期及び気温の低いとき(0℃以下)に使用するときには、エンジンをかけてください。エンジンをかけないで使用すると、バッテリーの電圧低下などで、ムービングシートが作動しない場合があります。

ムービングシートを出したまま車を移動させない

- ・制御システムの異常などでムービングシートが格納できずに車を移動させる場合、必ず「緊急時の処置」(P.30)の方法により格納してから車を移動させてください。ムービングシートを出したまま移動させると、他の通行車両や歩行者にぶつかり大変危険です。また、人が乗っているとムービングシートから落下し、重大な傷害につながるおそれがあります。



ドアを確実に閉める！

- ・走行するときは、ドアを確実に閉めてください。半ドアなど、確実に閉まっていないと、誤って昇降スイッチに触れた場合、ムービングシートが作動し、ケガをするおそれがあります。

チャイルドシートについて

- ・ムービングシートにチャイルドシートを取り付けることはできません。
- ・その他のシートについては標準車と同じです。三菱自動車工業(株)発行の標準車「取扱説明書」をお読みください。

乗降するとき

- ・ムービングシートに深く着座できない方、ひざが曲がらない方は、足がボディに当たり、座った状態でのムービングシートの回転が困難になりますので、ご注意ください。
- ・座高の高い方、首の曲がらない方は、頭部がドア開口部に当たり、乗車が困難になりますのでご注意ください。
- ・安全のため、各操作は介助者が確実に行ってください。
- ・介助者の力が弱い場合には、乗り降りが困難になります。介助者の人数を増やすなどして、操作を確実にできるようにしてください。
- ・車いすからムービングシートへ乗り移るときなど、介助者は腰に負担がかかりすぎないように、ひざを曲げ、腰を落として安定した姿勢をとるよう心掛けてください。

助手席ムービングシート

シートベルトを必ず着用する

・走行する前に、全員が必ずシートベルトを着用してください。着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に生命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあります。

胸部固定ベルトの着用

・着座姿勢保持が困難な方は、必要に応じて胸部固定ベルトを使用してください。
・胸部固定ベルトを着用しているときも、走行中は必ずシートベルトを正しく着用してください。シートベルトを着用しないまま走行すると、衝突時などに身体を保持できず、重大な傷害につながるおそれがあります。



ムービングシート下降中はユニットの上に乗らない！

・ムービングシートを下降させているときは、車両側に残っているベースユニットの上に足や手を乗せないでください。足や手を挟まれてケガをしたり、故障の原因になったりします。

フロアカーペットについて

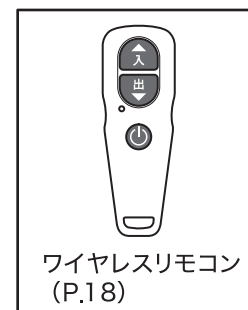
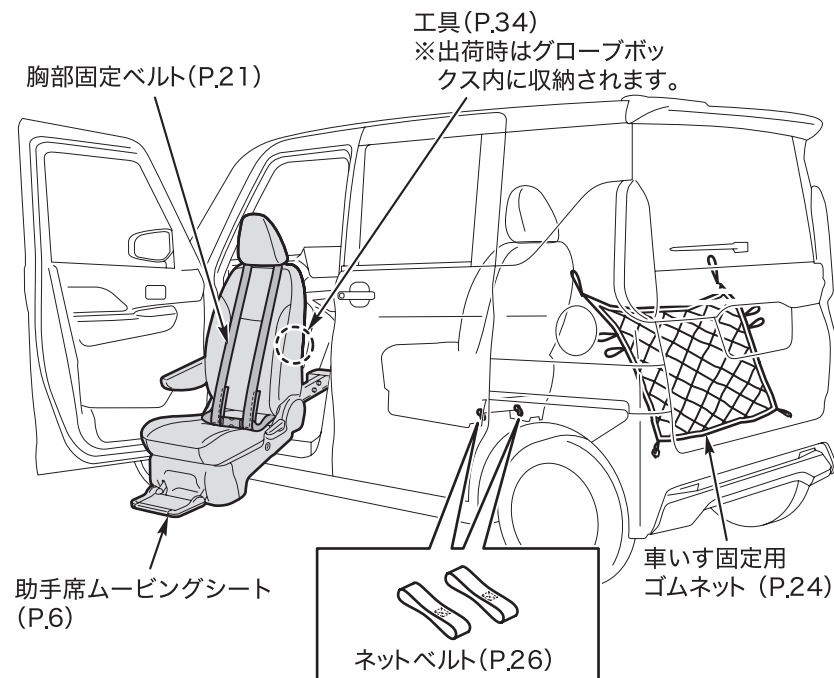
・専用のフロアカーペット以外は使用しないでください。形状が合わず、装置に支障をきたすおそれがあります。必ず専用フロアカーペット（ディーラーオプション）を使用してください。専用フロアカーペットのご購入については、三菱自動車販売店にご相談ください。
・フロアカーペット（フロアマット）は2重に使用しないでください。固定されないカーペット（フロアマット）がムービングシートに巻き込まれ、故障の原因となることがあります。
・専用フロアカーペットの取り扱いに関しては標準車と同じです。三菱自動車工業（株）発行の標準車「取扱説明書」をお読みください。

知識

・車両に貼付けてあるラベル類に「助手席ムービングシート」を「スライドアップシート」と記載している場合があります。

イラスト目次

※ムービングシートは専用シートとなるため、標準車に対して装着されない装備や機能があります。



ワイヤレスリモコン (P.18)

※出荷時はグローブボックス内に収納されます。

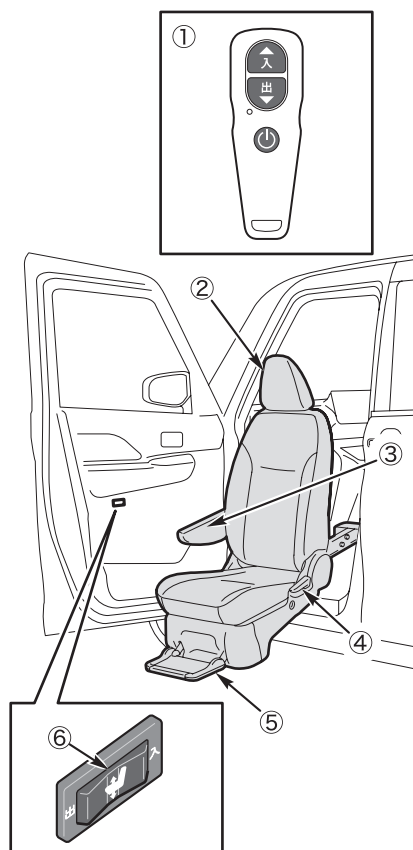
※出荷時はグローブボックス内に収納されます。

・万一のとき P. 28
・助手席ムービングシートの点検・お手入れ... P. 40

助手席ムービングシートの使いかた

各部の名称

- ①ワイヤレスリモコン
- ②ヘッドレスト
- ③アームレスト
- ④リクライニングレバー
- ⑤フットレスト
- ⑥昇降スイッチ



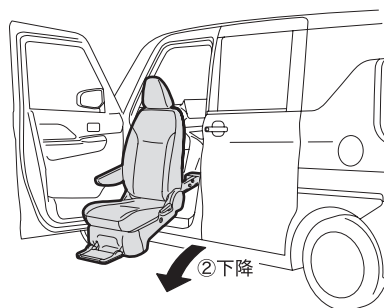
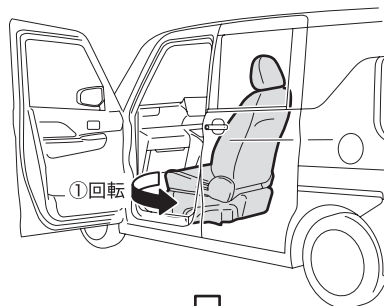
機能説明

●ムービングシート

・助手席ドアについている昇降スイッチ又はワイヤレスリモコン操作で、ムービングシートが以下のように自動で作動します。

※詳しくは、P. 8 / 「乗車するとき」をお読みください。

- ①昇降スイッチ又はワイヤレスリモコン操作により、シートが電動で回転→下降し、車外へ出ます。

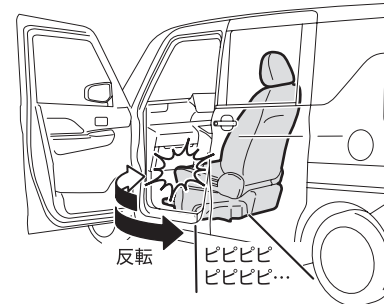


- ②昇降スイッチ又はワイヤレスリモコン操作により、シートが電動で上昇→回転し、車内へ格納します。

●挟み込み防止機能

・ムービングシートの回転時に異物の挟み込みを検知すると、ムービングシートの回転が停止し、自動で少し戻ります。（このとき警報ブザーが鳴ります）

・挟み込み防止機能が作動したときは、異物を取り除いてから再操作してください。



⚠ 注意

・入回転及び出回転が完了する直前の位置や、柔らかい物などが挟まったときは、挟み込みを検知しない場合があります。手や足などを挟まれないよう注意してください。

📌 アドバイス

- ・異物を取り除いても挟み込み防止機能が作動するときは、三菱自動車販売店へ連絡してください。
- ・異物を取り除かないままムービングシートの操作を続けると、故障するおそれがあります。

●未格納防止機能

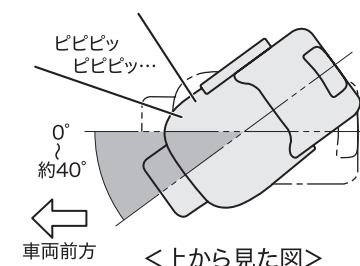
・以下の条件のとき、ムービングシート未格納防止機能が働き、シートを自動で格納します。

- ①ワイヤレスリモコン又は昇降スイッチの“入”を押してムービングシートを作動させ、シートの回転角度が約0°～8°の位置で“入”を離したとき。
- ②ワイヤレスリモコン又は昇降スイッチの“出”を押してムービングシートを作動させ、シートの回転角度が約0°～8°の位置で回転を止め、ドアを閉めたとき。

●警報ブザー

・以下の条件のとき、警報ブザーが鳴り、注意を促します。

- ①ムービングシートが動き出すときに“ピッ”と鳴ります。
ムービングシートが格納完了したときに“ビピッ”と鳴ります。
- ②ムービングシートの回転角度が約40°までの位置及び、格納直前の回転途中でムービングシートを停止させたとき。（格納未完了ブザー）



※ムービングシートを格納したとき、又は40°以上回転させたときは、上記のブザーは鳴りません。

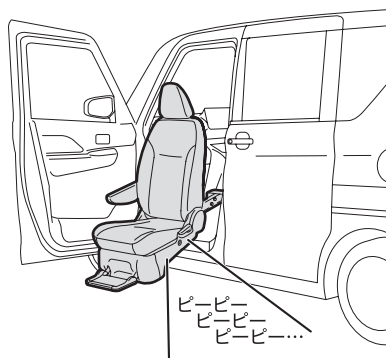
※“入”作動中に0°～8°の位置で“入”ボタンを離すと、未格納防止機能が働き自動でシートが格納されるため、上記のブザーは鳴りません。

- ③挟み込み防止機能が作動したとき。
(ムービングシートは停止し、自動で少し戻ります。P. 7/「挟み込み防止機能」)



※警報ブザーは反転中(自動で少し戻るとき)のみ鳴ります。

- ④ムービングシートの制御システムに異常が発生したとき、昇降スイッチ又は、ワイヤレスリモコンを操作すると“ピーピーピーピー…”と鳴り続けます。(P.28/「万一のとき」)

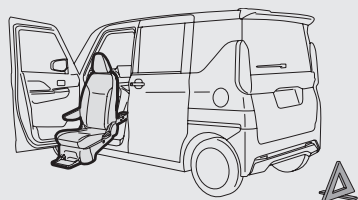


乗車するとき

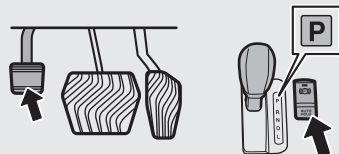
※操作する前に「ご使用前に読みましょう!」(P.2～)を必ずお読みください。

⚠注意

- ・お子さまには操作させないでください。手や指を挟むなど、思わぬ事故を起こすおそれがあります。
- ・ムービングシートを路上で操作するときや、夜間に操作するときは、周りの通行車両や歩行者に注意してください。必要に応じて、停止表示板(別売り)又は、停止表示灯(別売り)を置いて、後続車に注意を促してください。

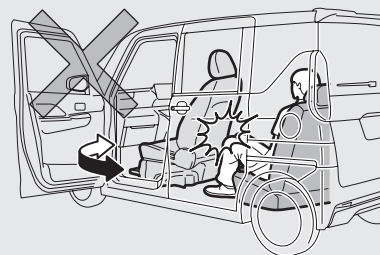


- ・ムービングシートを使用するときは、車両左側に十分なスペースがある場所を選んで、助手席ドアを全開にしてください。ドアを全開にしないと、身体やシートがぶつかり、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、強風のときはドアが風にあおられ、閉まるおそれがありますので注意してください。
- ・ムービングシートを使用するときは、安全のためパーキングブレーキを確実にかけ、セレクトレバーをP位置にしてください。



⚠注意

- ・ムービングシートは傾斜のない平坦な場所で使用してください。傾斜のある場所で使用すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・ムービングシート操作中は、後席シートに座らないでください。ムービングシートに足を挟まれ、思わぬケガをするおそれがあります。



- ・助手席の足元に物を置かないでください。ムービングシート回転時に座っている方の足が引っかかり、ケガをするおそれがあります。



- ・ムービングシートの背もたれの後面にカバーをかけたり物が触れたりしないようにしてください。シート作動時に挟まれて故障の原因になります。
- ・ムービングシートの周辺に荷物や車いすなどを置かないでください。故障や傷つきの原因になります。

⚠注意

- ・グローブボックスやカップホルダーなどを開けたまま、ムービングシートを操作しないでください。手や足などをぶつけてケガをするおそれがあります。また、ムービングシートの故障や傷つきの原因になります。



- ・サンバイザーを下げたまま、ムービングシートを操作しないでください。サンバイザーが顔や目などに当たりケガをするおそれがあります。
- ・ムービングシートを操作するときは、運転席やムービングシートの周り及び、シートに座っている方が挟まれたりしないよう、十分に注意してください。

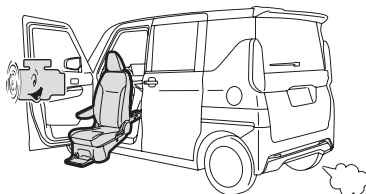
⚠ 注意

- ・ムービングシートの下をのぞき込んだり足を置いたりしていると挟まれてケガをするおそれがあります。操作する方はシートの横に立って操作してください。
- ・ムービングシートを操作するときは、シートの後部や下部などに手を近づけないでください。挟まれてケガをするおそれがあります。
- ・操作は安全のため、介助者が行ってください。
- ・介助者は万全の注意をはらって操作してください。ムービングシート回転時に足を挟んだり、ムービングシートから転落するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。介助者は、万一のときムービングシートに座っている方の危険が回避できる状態で操作してください。
- ・ムービングシートに荷物などを載せないでください。荷物が落ちてケガをしたり、ムービングシートが故障したりするおそれがあります。
- ・ムービングシートの回転及び昇降時は、背もたれを倒しすぎないようにしてください。背もたれが周辺部にぶつかり、事故や故障の原因になります。



📌 アドバイス

- ・ムービングシートは“100kg”以下で使用してください。100kgを超えて使用すると故障の原因になります。
- ・ムービングシートを連続して何回も使用するときは、“バッテリーあがり”を防止するため、必ずエンジンをかけてください。

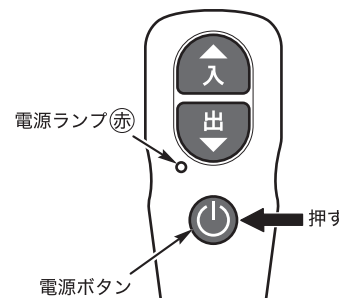


- ・ムービングシート格納時、後席シートに座っている方は、ムービングシートのカバーに足を乗せないでください。カバーが破損するおそれがあります。
- ・ムービングシートの背もたれの角度調節は、ムービングシートを格納してから行ってください。
- ・ムービングシートに水をかけないでください。故障やサビの原因になります。水がかかったときは、すぐに乾いた布で水分をふき取ってください。

📖 知識

- ・シートの回転途中で昇降スイッチ又はワイヤレスリモコンのボタンから指を離すと警報ブザーが鳴り、警報します。(回転未完了を警報するブザーです。故障ではありません)
- ・ムービングシートは前後スライドしません。
- ・ワイヤレスリモコンは、出荷時はグローブボックスに収納されています。

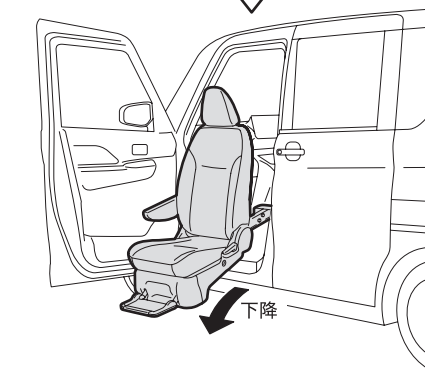
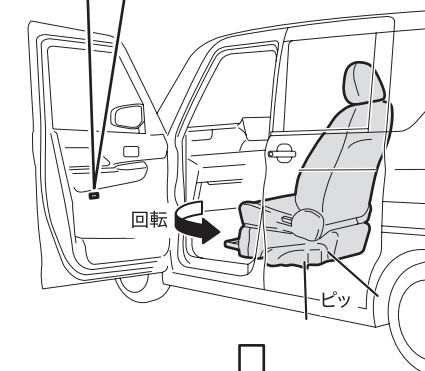
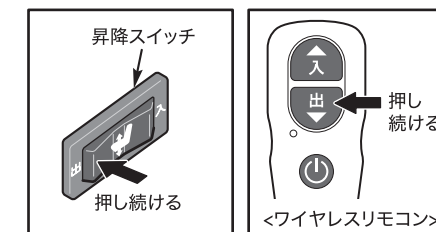
- ① パーキングブレーキをかけて、セレクトレバーをP位置にします。
- ② 助手席ドアを全開にします。
- ③ 背もたれが倒れているときは、背もたれを戻します。
- ④ ワイヤレスリモコンを使用するときは、電源ボタンを押してワイヤレスリモコンの電源を“ON”にします。電源が“ON”になるとワイヤレスリモコンの電源ランプ(赤)が点滅します。



📖 知識

- ・ワイヤレスリモコンの電源が“ON”の状態、約10秒間“入”又は“出”ボタンの操作をしないと、自動的に電源が“OFF”になるオートパワーオフ機能がついています。オートパワーオフ機能が働いたときは、再度電源ボタンを押して電源を“ON”にしてください。

- ⑤ 昇降スイッチの“出”側又は、ワイヤレスリモコンの“出”ボタンを押し続けます。ムービングシートが出回転→下降します。必要な高さまでシートが下降したら、スイッチから指を離してシートを停止させてください。



知識

- ・ムービングシートが動き出すとき、警報ブザーが“ピッ”と鳴ります。
- ・作動途中で“入”又は“出”ボタンから指を離すとシートはその場で停止します。

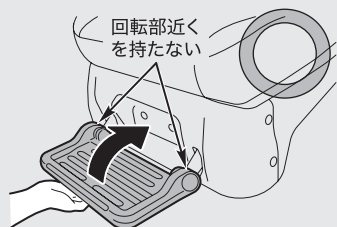
⑥ フットレストを格納します。



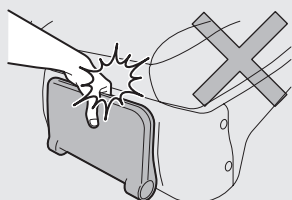
フットレスト

注意

- ・フットレストを格納するときは、回転部近くを持たないでください。また、下図のようにフットレストを持ちながら格納しないでください。指などを挟み、ケガをするおそれがあります。

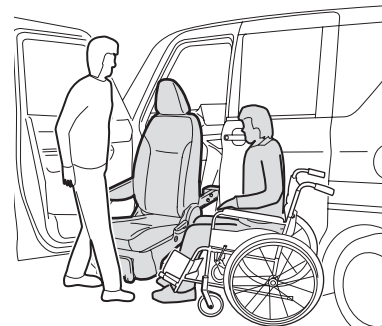


回転部近くを持たない

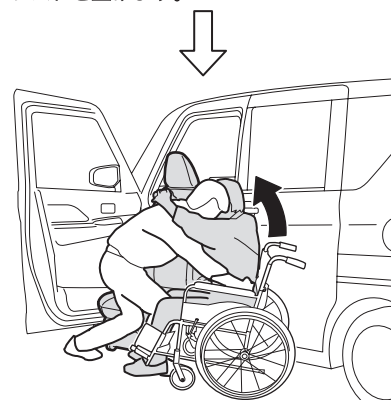


⑦ 車いすからムービングシートに乗り移ります。

〈車いすからムービングシートへの乗り移り例〉



- ・車いすをムービングシートに近づけ、車いすのブレーキをかけます。
- ・車いすの方の足を地面に下ろし、車いすのフットレストを上げます。



- ・介助者の軸足(右足)を車いすの方の足の間に、もう一方の足を後ろに引きます。
- ・ひざを曲げて、腰を落とし、安定した姿勢をとります。
- ・車いすの方は、介助者の首の後ろでしっかり手を組みます。
- ・車いすの方の腰部を持って引き寄せながら、持ち上げます。

※軸足は、車いすの方と介助者の体格差や介助者の利き足などにより、異なる場合があります。介助者は力が入り安定する姿勢で介護してください。



注意

- ・車いすからムービングシートに乗り移るときは、車いすのフットレストに体重をかけないでください。バランスを崩し転倒するおそれがあります。
- ・ムービングシートに横向きに座ったり、フットレストの上に立ったりするなどしないでください。思わぬケガをするおそれがあります。
- ・介助者は車いすの方に対して正面を向き、ひざを曲げて、腰を落とし、安定した姿勢をとってください。
- ・ムービングシートに2人以上乗らないでください。ムービングシートは1人用です。2人以上乗ると思わぬ事故を起こすおそれがあります。

アドバイス

- ・ムービングシートを回転させた状態でドアを閉めないでください。故障の原因になります。



- ・軸足(右足)を支点にして、ムービングシート側へ回転させます。



- ・ゆっくりシートに腰を下ろします。シートに深く腰掛け、上体を背もたれにあずけます。(着座姿勢を整えます)

- ⑧フットレストを開きます。
フットレストに足を乗せて、両腕はアームレストの内側に入れます。



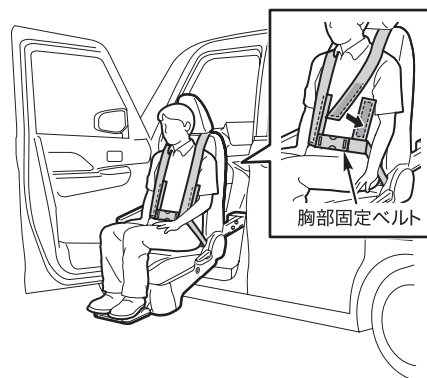
⚠ 注意

- ・フットレストを操作するときは、回転部近くを持たないでください。
- ・フットレストの上で立ち上がらないでください。思わぬケガをするおそれがあります。

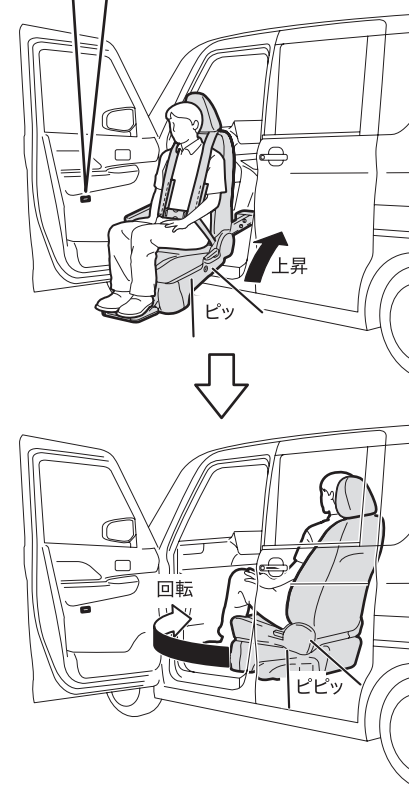
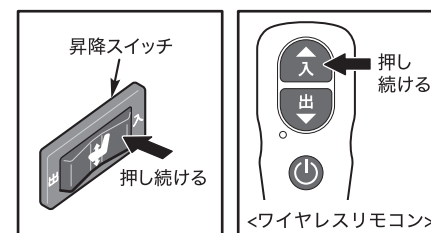
📌 アドバイス

- ・フットレストをステップの代わりにするなど、荷重をかけないでください。故障の原因になります。

- ⑨必要に応じて胸部固定ベルトを着用してください。(P.21 / 「胸部固定ベルトの使いかた」)



- ⑩昇降スイッチの“入”側又は、ワイヤレスリモコンの“入”ボタンを押し続けます。
ムービングシートが上昇→入回転→格納します。
シートが格納して停止したら、スイッチから指を離します。



⚠ 警告

・ムービングシートを格納するときは、ムービングシートが完全に格納して停止し、警報ブザーが“ピピッ”と鳴るまでスイッチを押し続けてください。警報ブザー（格納未完了ブザー）が“ピピピピピピッ…”と鳴っているときは、格納途中です。再度、“入”を押してムービングシートを格納してください。

格納途中でムービングシートを止めると、衝突時などにムービングシートが動き重大な傷害につながるおそれがあります。また、格納途中でムービングシートを止めると、シートベルトが首にかかるなど正しく着用できず、万一のとき重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意

・ムービングシートに座っている方の頭上に注意して操作してください。ムービングシート操作時にシートに座っている方がルーフに頭をぶつけるおそれがあります。ルーフをくぐる際に頭を倒してルーフをよけてください。

・ムービングシートに座っている方の足がカーペットやドア開口部などに引っかからないよう十分注意してください。

⚠ 注意

・ムービングシートに座っている方の足やひざ、腕がインストルメントパネルにぶつかったり、挟まれたりしないよう注意してください。ムービングシートに座るときは、シートに深く腰掛けて、足はフットレストの上に寄せ、腕はアームレストの内側に入れてください。

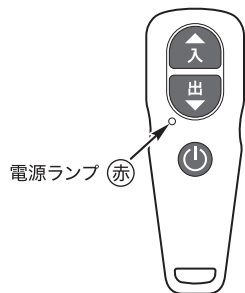


・足がカーペットやドア開口部などに引っかかったり、かかとがフットレストの下に潜り込んだりしないよう十分注意してください。

📖 知識

- ・ムービングシートが動き出すとき、警報ブザーが“ピッ”と鳴ります。
- ・ムービングシートが格納されると、警報ブザーが“ピピッ”と鳴ります。

⑪ムービングシートの格納後、ワイヤレスリモコンの“入”又は“出”ボタンを約10秒間操作しないでいると、オートパワーオフ機能により自動的に電源が“OFF”になります。電源が“OFF”になるとワイヤレスリモコンの電源ランプが消灯します。



＜ワイヤレスリモコン＞

⚠ 注意

- ・ワイヤレスリモコンをシートの上やフロアなどに放置しないでください。誤って電源ボタンなどを押すと、誤作動したり、ワイヤレスリモコンが故障したりするおそれがあります。

⑫足をフロアへ降ろし、フットレストを格納します。シートベルトを正しく着用します。



⚠ 警告

- ・シートベルトは正しく着用してください。シートベルトの着用のしかたは三菱自動車工業（株）発行の標準車「取扱説明書」をお読みください。

📖 知識

- ・シートベルトは、胸部固定ベルトを着用したまま着用できます。
- ・着座姿勢保持が困難な方は、胸部固定ベルトを着用した上でシートベルトを着用してください。

⑬助手席ドアを閉めます。

⚠ 注意

- ・助手席ドアを閉めるときは、ムービングシートに座っている方の手や腕を挟まないよう注意してください。

降車するとき

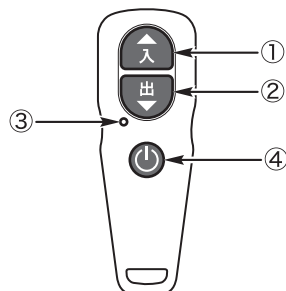
- ・降車するときには、「乗車するとき」の逆の手順で行ってください。
- ・シートベルトがアームレストやシート全体に引っかからないよう操作してください。

⚠ 注意

- ・シートベルトを着用したままムービングシートを操作しないでください。シートベルトにより、ケガをするおそれがあります。

ワイヤレスリモコン

- ①“入”ボタン：ムービングシートの上昇と“入”回転（車内方向）ができます。ボタンから指を離すと停止します。
- ②“出”ボタン：ムービングシートの“出”回転（車外方向）と下降ができます。ボタンから指を離すと停止します。
- ③電源ランプ（赤）：ワイヤレスリモコンの電源が“ON”のときに点滅します。
- ④電源ボタン：ワイヤレスリモコンの電源のON/OFFに使用します。



オートパワーオフ機能

・電源を“ON”にした後、約10秒間ボタンの操作をしないと、自動的に電源が“OFF”になるオートパワーオフ機能が働いています。オートパワーオフ機能が働いたときは、再度電源ボタンを押して電源を“ON”にしてください。

電池切れ表示機能

・電池が消耗すると、“入”ボタン又は“出”ボタンを押している間、電源ランプ（赤）が消灯します。電池の交換は、次の「電池交換」をお読みください。

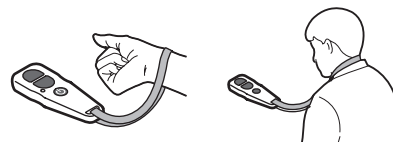
アドバイス

・各スリットにより、2通りの使い方ができます。

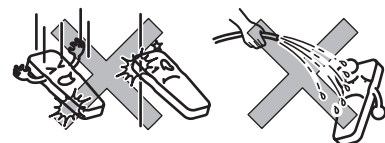
※ストラップは付属しません。

①後スリットに短いストラップを通し
手首からぶら下げる

②後スリットに長いストラップを通し
首からぶら下げる



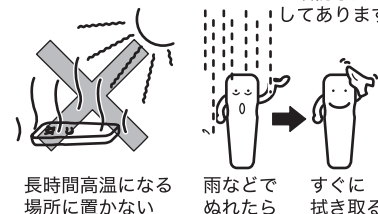
・ワイヤレスリモコンを以下のように扱わないでください。故障の原因になる場合があります。



高い所から落としたり
ぶつけたりしない

水に濡らさない

※生活防水加工
してあります



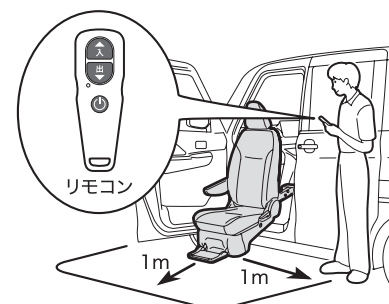
長時間高温になる
場所に置かない

雨などで
ぬれたら
すぐに
拭き取る

・“入”ボタン又は“出”ボタンを押している間、電源ランプが消灯するときや、ボタンを押しても作動しないときは、電池の消耗が考えられます。電池の交換は、次の「電池交換」をお読みください。

アドバイス

- ・リモコン操作はムービングシートから1m以内で行ってください。
- 電波環境など、状況によって作動距離が変わったり、正常に作動しなかったりする場合があります。正常に作動しない場合は、昇降スイッチを使って操作してください。



知識

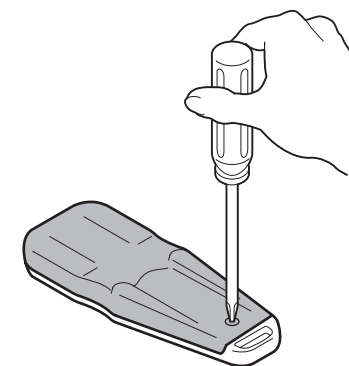
- ・ワイヤレスリモコンの電源を“ON”にするときは、電源ランプ（赤）が点滅するまで電源ボタンを押し続けてください。ワイヤレスリモコンの電源を“OFF”にするときは、電源ランプ（赤）が消灯するまで電源ボタンを押し続けてください。
- ・ワイヤレスリモコンのボタンを2つ以上同時に押すと、ムービングシートは作動しません。

●電池交換

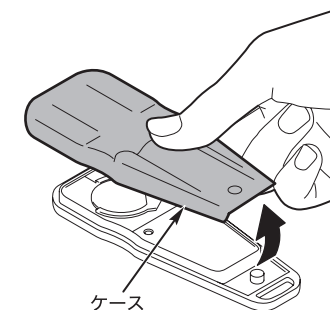
アドバイス

- ・ワイヤレスリモコンのケースを開けたときは、リモコン内部に触れないようにしてください。
- ・電池は必ず新品と交換してください。
- ・電池を廃棄するときは、各市、区、町、村の処分方法を確認してください。

- ①ワイヤレスリモコン裏側のネジ（1本）を⊕ドライバーで外します。

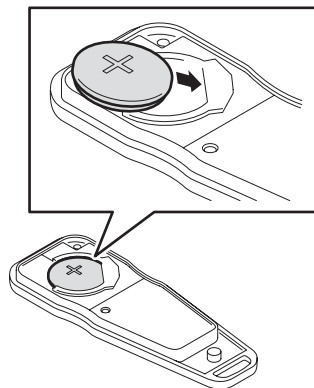


- ②ワイヤレスリモコンのケースを外します。

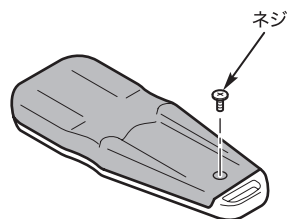


- ③新しい電池と交換します。電池は下図のように入れます。

使用電池：CR2032(コイン電池)



- ④ケースを取り付け、ネジ(1本)を⊕ドライバーでしっかり締めます。



- ⑤ワイヤレスリモコンの電源を入れ、各ボタンを押してムービングシートが作動するか確認します。

胸部固定ベルトの使いかた

警告

・胸部固定ベルトはシートベルトではありません。胸部固定ベルトを着用しているときも、走行中は必ずシートベルトを着用してください。シートベルトをしないまま走行すると、衝突時などに身体を保持できず、重大な傷害につながるおそれがあります。

知識

・シートベルトは、胸部固定ベルトを着用したまま着用できます。

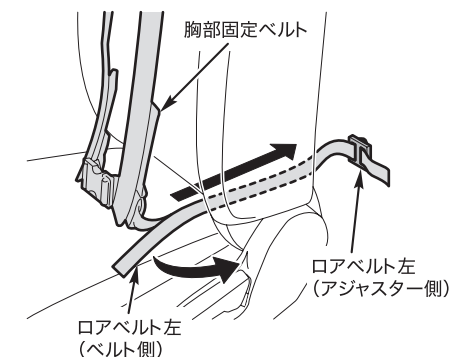
・胸部固定ベルトは、着座姿勢保持が困難な方がムービングシートに座っているときに、上半身を保持するために使用します。



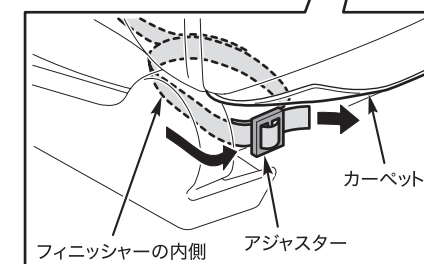
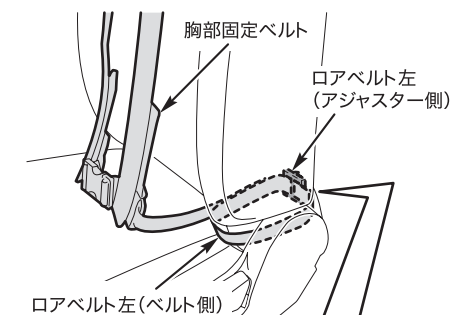
・着座姿勢保持が困難な方には、介助者が走行中の着座姿勢に常に注意を払い、必要に応じて胸部固定ベルトを使用してください。

取り付けかた

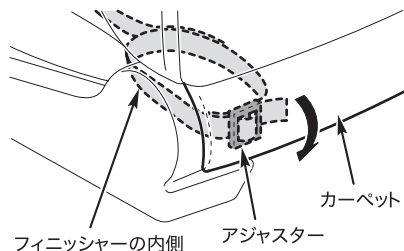
- ①ロアベルト左のアジャスター側をシートバックとクッションの間に通します。



- ②ベルト側のシートバックの根元に巻き付け、アジャスターに通します。

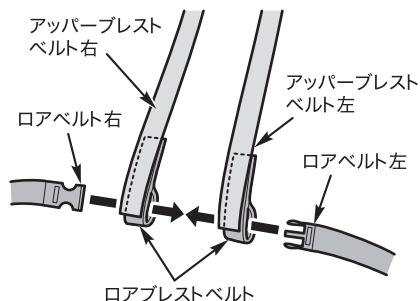


- ③ベルトをフィニッシャーの内側に入れ、アジャスターが座席の後ろ側にくるように調整します。ロアベルト右も同様に取付けて下さい。左右取り付け後、カーペット(助手席)を被せます。

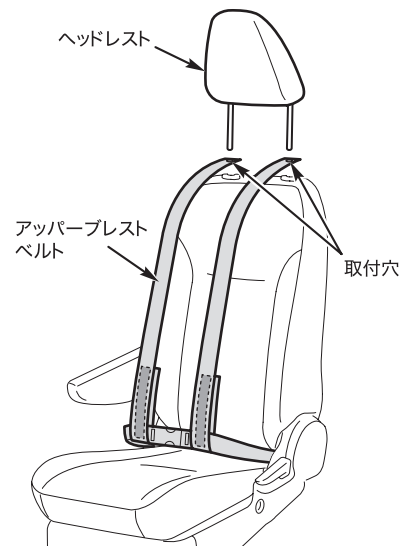


- ④ヘッドレストを取り外します。(三菱自動車工業(株)発行の標準車「取扱説明書」をお読みください)

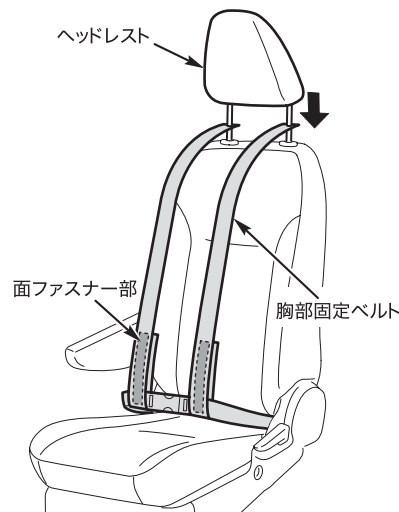
- ⑤ロアプレストベルトにロアベルト左及びロアベルト右を通しバックルを差し込みます。



- ⑥下図のようにアッパープレストベルトが表になるようにして、取付穴にヘッドレストを通します。



- ⑦ヘッドレストを取り付けます。(三菱自動車工業(株)発行の標準車「取扱説明書」をお読みください)



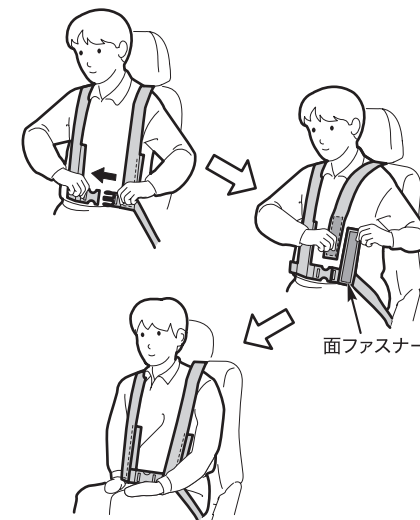
着用のしかた

⚠ 注意

・胸部固定ベルトを着用するときは、面ファスナー同士を斜めにかかけたりしないようにしてください。面ファスナーの密着力が低下し、胸部固定ベルトの機能が十分発揮できないおそれがあります。



- ①胸部固定ベルトにムービングシートに座っている方の両腕を通します。
②胸部固定ベルトのバックルを腰の位置で差し込み、長さを調整してたるまないようにします。
③胸部固定ベルトの面ファスナー(左右)を調整し、胸部にたるみなく密着させ固定します。

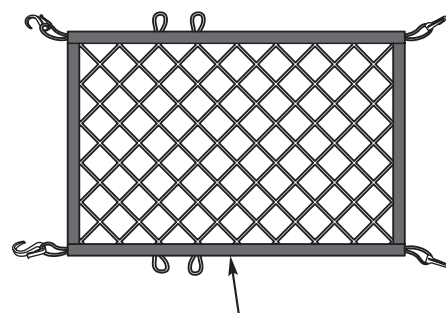


📖 知識

・胸部固定ベルトで上半身を締め付けることが、ムービングシートに座っている方に悪い影響を与えると思われるときは、使用を控えてください。
・ムービングシートに座っていないときは、胸部固定ベルトが外側に垂れ下がらないように、バックルを差し込んで止めてください。

車いす固定用ゴムネットの使い方

・車いすを載せたときに、固定するためのゴムネットです。



車いす固定用ゴムネット

注意

・車いす以外のものを固定しないでください。事故や故障の原因になります。

・固定可能な車いす以外は固定しないでください。車いすが車いす固定ネットから外れて、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、ドアが閉まらなかったり、ドアガラスなどが破損したりするおそれがあります。

アドバイス

・折りたたみ時の車いすの形状によっては固定可能な車いすでも、完全に収まらない場合があります。

固定可能な車いすサイズの目安

・下図のサイズが、固定可能な車いすの目安です。お客さまの車いすのサイズを確認してください。

固定位置	ラゲッジルーム	運転席の後側
大車輪径 (インチ)	22以下	24以下
全高 (mm)	1040以下	1240以下 (ドア開口高さ)
全長 (mm)	960以下	1180以下 (室内幅)
折りたたみ幅 (mm)	590以下 (後席最前端) 270以下 (後席最後端)	430以下※

※1. 運転席のシートスライド位置及びリクライニング角度により、固定できる車いすのサイズは異なります。

2. 無理な姿勢での運転は行わないでください。

3. 助手席後方スペースの寸法は340 mmです。車いすを助手席側から搭載するときは注意してください。

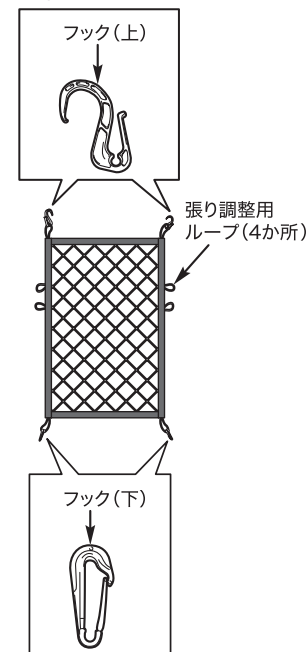
・数値はリクライニングを垂直にした状態で車いすを立てて固定した場合のサイズの目安です。

・数値は車いすカタログ寸法です。

使い方

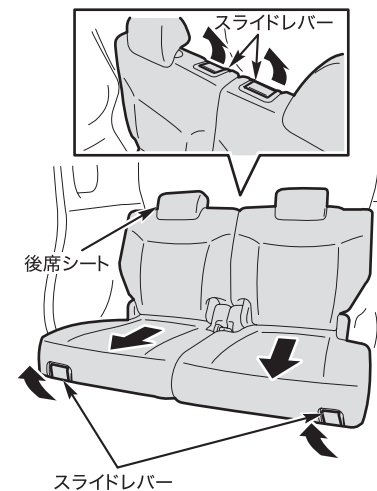
●ラゲッジルームに車いすを固定する

①フックの形状が上下で異なりますので、上下を確認します。



②バックドアを全開にします。

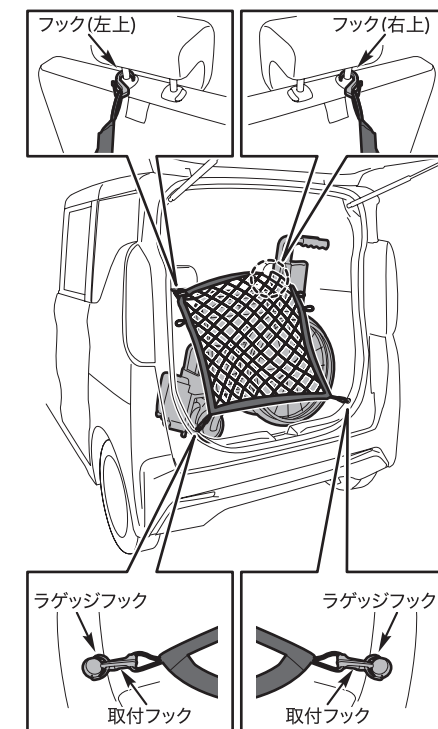
③スライドレバーを操作し、後席シートを前方へスライドします。



④ラゲッジフック(左右)に取付フックをかけ、ゴムネットのフック(下)をかけます。

⑤車いすをラゲッジルームに収納します。

⑥後席シートのヘッドレスト部(左右各1か所)にゴムネットのフック(上)をかけます。



⑦ゴムネットの張りが弱いときは、張り調整用ループを使用してたぐり寄せるか、フック(上)の取付位置を変えて、張りを調整してください。

アドバイス

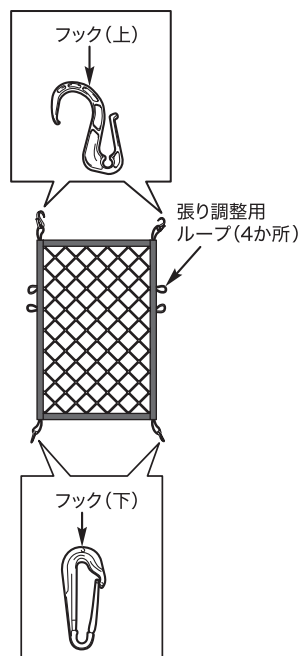
・車いすをゴムネットで固定したときは、後席シートの背もたれを倒さないでください。

●運転席の後ろ側に車いすを固定する

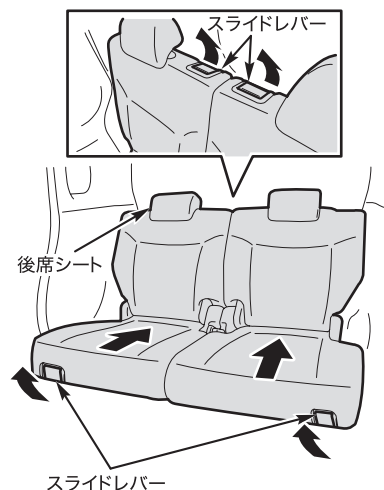
⚠注意

- ・助手席後ろ側には車いすを固定できません。ムービングシートが故障するおそれがあります。
- ・車いすの収納、取り出し時は、室内装備にキズを付けないように注意してください。

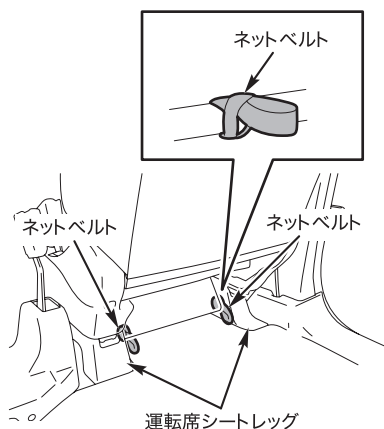
- ①フックの形状が上下で異なりますので、上下を確認します。



- ②スライドレバーを操作し、後席シートを後方へスライドします。



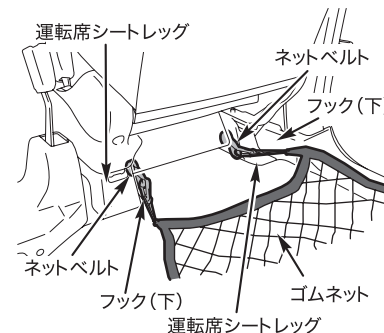
- ③ネットベルトを運転席シートレッグのバーに取り付けます。



知識

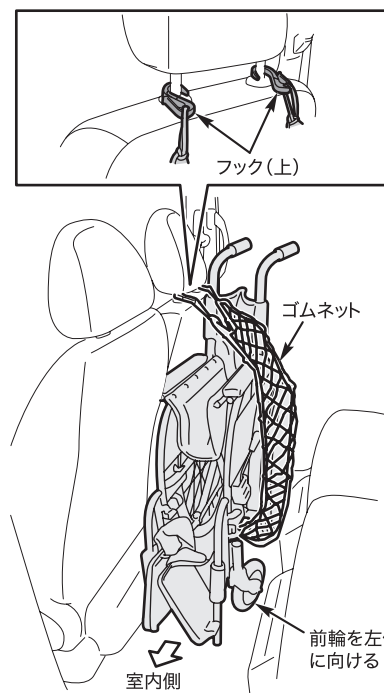
- ・ネットベルトは、出荷時はグローブボックスに収納されています。

- ④ゴムネットのフック(下)をネットベルトにかけます。



- ⑤車いすの前輪を左側に向けて、運転席後ろに収納します。

- ⑥運転席のヘッドレスト部(2か所)にゴムネットのフック(上)をかけます。



- ⑦ゴムネットの張りが弱いときは、張り調整用ループを使用したがり寄せるか又は、フック(上)の取付位置を変えて、張りを調整してください。

アドバイス

- ・車いすを運転席後ろにゴムネットで固定したときは、運転席及び右側後席シートの背もたれを前に倒さないでください。

万ーのとき

ムービングシートが動かなくなったとき

・ムービングシートが動かなくなったときは、最初に以下の項目を確認してください。

バッテリーがあがっていないか確認してください。

エンジンを開始してください。エンジンが始動できないときは、バッテリーを充電又は交換してください。

ヒューズ、ヒューズブルリンクが切れていないか確認してください。

切れているときは三菱自動車販売店で点検を受けてください。(P. 38 / 「ヒューズの位置」、P. 39 / 「ヒューズブルリンクの位置」)

ワイヤレスリモコンの電源が入っているか、電池が切れていないか確認してください。

電源を入れてください。電池を交換してください。(P.18 / 「ワイヤレスリモコン」)

・ムービングシートが回転しないときは、上記の項目に加え、以下の項目を確認してください。

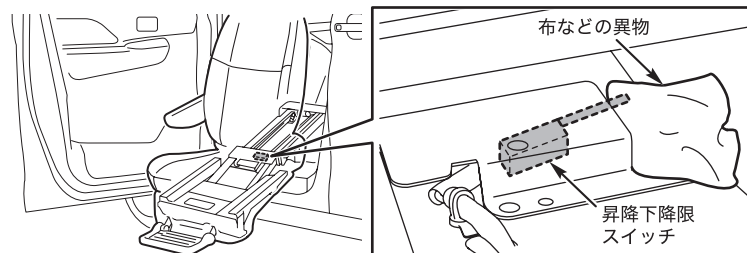
背もたれが運転席と干渉していないか確認してください。

リクライニングレバーを引いて、背もたれを起こしてください。

・ムービングシートが下降しないときは、上記の項目に加え以下の項目を確認してください。

昇降下降限スイッチが異物等で押されていないか確認してください。

異物等を取り除いてから再操作してください。



※異物等が挟まったまま上昇させると、上昇完了後回転格納ができなくなるおそれがあります。

・ムービングシートの動きが時々止まるときは、以下の項目を確認してください。

過熱によりサーキットブレーカーが作動している場合があります。

サーキットブレーカーは、気温や使用条件などによりモーターが過熱したときに作動し、温度が下がると自動復帰します。頻繁に作動するときは三菱自動車販売店にご相談ください。

警報ブザーが鳴ってムービングシートが停止した場合

・警報ブザーが鳴ってムービングシートが停止した場合は、以下の項目を確認してください。

警報ブザーが“ピピピピ...”と鳴り、ムービングシートが自動で少し戻って停止した場合。

挟み込み防止機能が作動しています。異物等が挟まっていないか確認し、異物等を取り除いてから再操作してください。(P.7 / 「挟み込み防止機能」)

警報ブザーが“ピーピーピーピー...”(昇降スイッチを押している間、吹鳴します)”と鳴って停止した場合。

一旦ボタンから手を離し、再度ボタンの“入”を押してシートを格納してください。スイッチの再操作で、ムービングシートが動かない場合又は、再び警報ブザーが鳴って停止する場合は、制御システムのリセット(復帰)を実施するか、三菱自動車販売店へ連絡してください。(次ページ以降に詳しく説明しています)

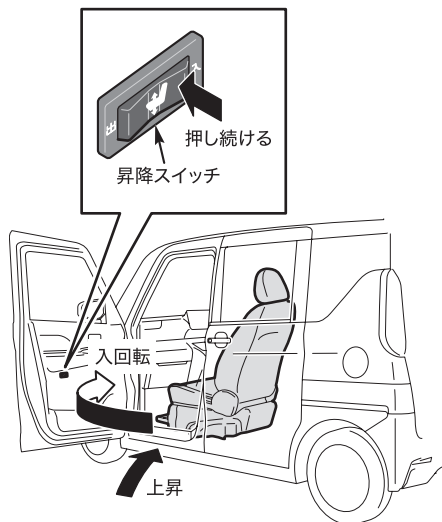
緊急時の処置

(A) 昇降スイッチ操作での格納 (B) 制御システムのリセット (復帰)

※シートが格納位置にない状態で昇降スイッチ又は、ワイヤレスリモコンを押したときに警報ブザーが“ピーピーピー”と吹鳴し、シートが動かない場合、制御システムの異常が考えられます。以下の (A) → (B) → (C) の順番にムービングシートの格納を試みてください。

(A) 昇降スイッチ操作での格納

・助手席ドアに付いている昇降スイッチの“入”側を押して、ムービングシートが動かか確認してください。
ムービングシートが動く場合は、昇降スイッチの“入”側を押してムービングシートを格納してください。
ムービングシート格納後、車両を移動し三菱自動車販売店で点検、修理を受けてください。



(B) 制御システムのリセット(復帰)

・(A) の方法でムービングシートが格納できない (動かない) ときは、以下の方法で「制御システムのリセット(復帰)」を実施し、ムービングシートを格納してください。
・ムービングシート格納後、車両を移動し三菱自動車販売店で点検、修理を受けてください。

⚠ 注意

・制御システムをリセット(復帰)させるときは、ムービングシートには座らないでください。ムービングシートに座っているとリセット (復帰) 操作はできません。
・制御システムのリセットを完了しない状態で通常の使用を再開しようとすると、正常に作動しないおそれがあります。必ずリセット完了まで作業し、警報ブザーが停止していることを確認してください。

① 背もたれが倒れているときは、背もたれを戻してから、アームレストを引き上げ、フットレストを格納します。



⚠ 注意

・制御システムをリセット(復帰)させるときには、ムービングシートのアームレストを格納していないと、車体 (インストルメントパネル、ドア、ピラー等) に干渉するおそれがあります。

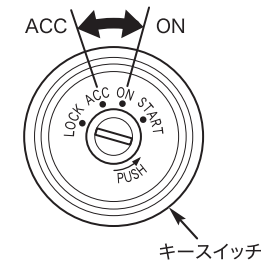
② 助手席ドアスイッチの“押す”-“離す”の動作を10秒以内に5回繰り返してください。(10秒以内に5回ON-OFFさせる)
このとき、ブザー音が鳴り始めます。



③ キースイッチ又はエンジンスイッチを以下の要領で操作します。

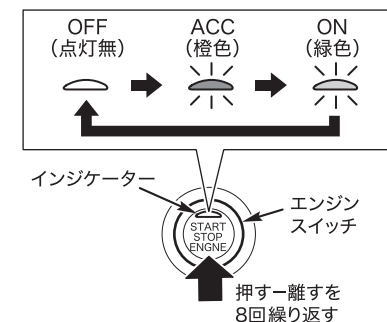
<キースイッチのとき>

・キーを差し込み、ACC→ONの動作を9秒以内に、3回繰り返してください。



<エンジンスイッチ(キーレスオペレーションシステム付車)のとき>

・ブレーキペダルを踏まずに、スイッチの“押す”-“離す”の動作を、9秒以内に8回繰り返してください。(OFFから押し始める)



🔑 アドバイス

・キーレスオペレーションキーが車室内にないと電源モードをOFFからACC、又はONに切り替えることはできません。

- ④警報ブザー音が等間隔に鳴り続けていることを確認します。

知識

- ・制御システムがリセットモードになると、警報ブザーが“ピーツ、ピーツ、ピーツ…”と鳴ります。
- ・警報ブザーは制御システムのリセット(復帰)が完了するまで鳴り続けます。

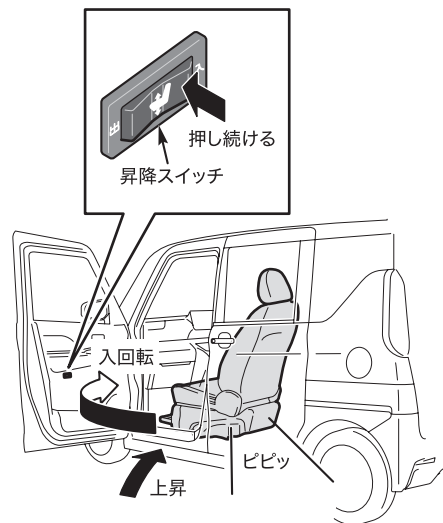
- ⑤助手席ドアスイッチの“押す”―“離す”の動作を10秒以内に3回繰り返します。(10秒以内に3回ON-OFFさせる)



知識

- ・②～⑤の操作を行わないと、ムービングシートは動きません。

- ⑥昇降スイッチの“入”側を押し続けます。ムービングシートが上昇→入回転→格納します。シートが格納して停止したら、スイッチから指を離します。回転が完了しムービングシートが格納されると“ピピッ”と鳴り、警報ブザー(ピーツピーツピーツ)が停止します。



アドバイス

- ・制御システムをリセット(復帰)させるときは、ワイヤレスリモコンを使用しないでください。必ず助手席ドアについている“昇降スイッチ”を操作してムービングシートを格納してください。

知識

- ・昇降スイッチの“出”側を押すと出回転しますが、下降動作はしません。



制御システムのリセット(復帰)完了

- ・以上の処置が終わりましたら、助手席ドアについている昇降スイッチを操作して、ムービングシートが正常に作動することを確認してください。
- ・(B)の方法でムービングシートが格納できない(動かない)ときは、次ページの「緊急時の処置(C)手動での格納」の方法でムービングシートを格納してください。
- ・ムービングシート格納後、車両を移動し三菱自動車販売店で点検、修理を受けてください。

注意

- ・ムービングシートを手動で格納するときは、次ページの「緊急時の処置(C)手動での格納」をよく読んで、内容を理解してから手順通りに作業してください。手順通りに作業しないと、ムービングシートを破損させるおそれがあります。

緊急時の処置 (C) 手動での格納

※ムービングシートを手動で格納する方法は、整備知識が必要なため、できるだけ整備経験者が行ってください。

警告

- ・ムービングシートを手動で格納したときは、ムービングシートが固定されません。走行するときは、ムービングシートには座らないでください。

注意

- ・ムービングシートを手動で格納するときは、できるだけ手袋（軍手など）をはめてください。
- ・ムービングシートを手動で格納するときは、以下の方法をよく理解し、安全を確認しながら作業してください。

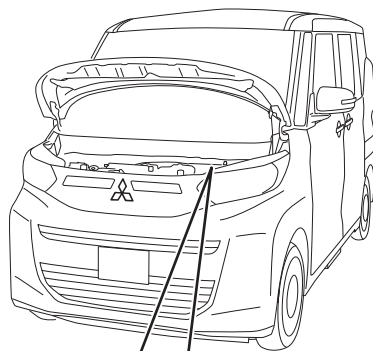
アドバイス

- ・ムービングシートを手動で格納するときは、ムービングシートが車体（インストルメントパネル、ドア、ピラーなど）にぶつからないように注意しながら作業してください。

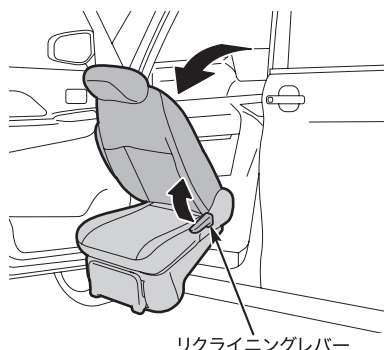
知識

- ・スパナ、ドライバーはグローブボックスに収納されています。

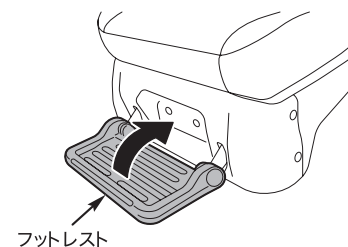
①誤作動防止のため、ムービングシートのヒューズブルリンク（25A）＜茶色＞（P. 39）を外すか、バッテリーの端子を外します。（三菱自動車工業（株）発行の標準車「取扱説明書」及び「メンテナンスノート」をお読みください）また、パーキングブレーキは確実にかけて、セレクトレバーはP位置にしてください。



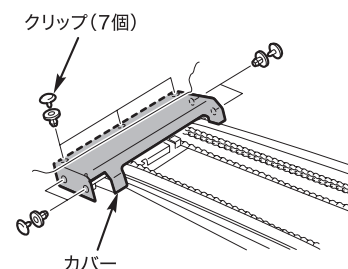
②背もたれを前に倒します。



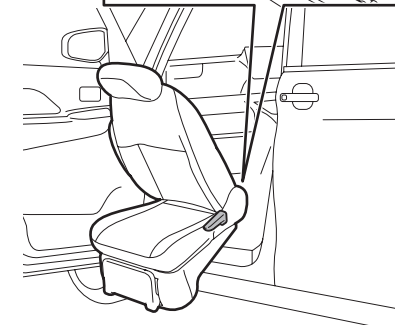
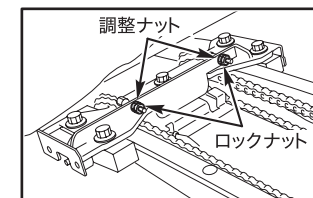
③フットレストが格納されていない場合、格納してください。



④クリップ（7個）を外し、カバーを取り外します。



⑤シートを押さえながら、スパナを使ってドライブチェーン末端のロックナット（2個）及び調整ナット（2個）を外します。



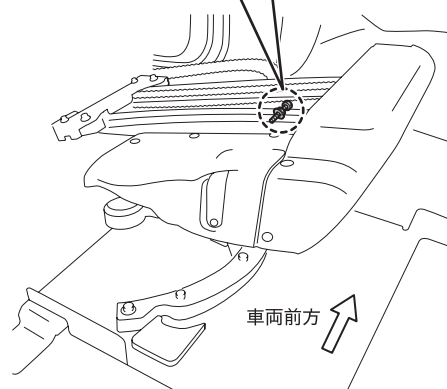
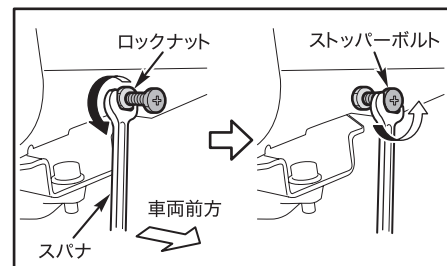
注意

- ・必ずシートを押さえながら作業をしてください。押さえずに作業すると、シートが下端まで落下し、思わぬケガをするおそれがあります。

アドバイス

- ・ナットを紛失しないように注意してください。

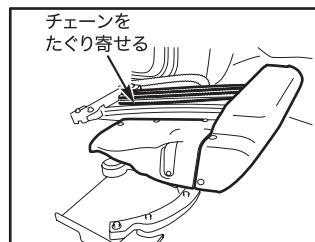
- ⑥スパナを使ってムービングシート右下のロックナットをゆるめます。
スパナを使って、ストッパーボルトをゆるめます。(5回転以上)



アドバイス

- ・ロックナット及びストッパーボルトをゆるめるときは、外れるまで回転させないでください。
- ・ロックナット、ストッパーボルトを紛失しないように注意してください。

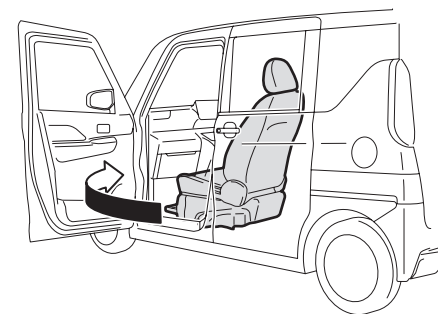
- ⑦ムービングシートを持って、シートをレールに沿わせるようにして、シートが格納するまで持ち上げます。このとき、たるんだチェーンをたぐり寄せながらシートを持ち上げてください。



注意

- ・ムービングシートを持ち上げるときは、手や指を挟まないよう注意してください。
- ・ムービングシートを手動で格納するときは、シートが完全に上昇するまで持ち上げてください。
- ・シートは持ち上げられた位置でロックされません。途中で手を離すと、シートが落ちてきて手や指、足などを挟まれてケガをするおそれがあります。

- ⑧ムービングシートが上昇したら、シートを左右にゆさぶりながら回転させ、車内へ格納します。



注意

- ・ムービングシートを回転させるときは、手や指を挟まないよう注意してください。

アドバイス

- ・ムービングシートを手動で格納したときは、シートは完全に正面を向きません。

- ・ムービングシート格納後、車両を移動し三菱自動車販売店で点検、修理を受けてください。点検、修理が済むまで、ムービングシートは使用しないでください。

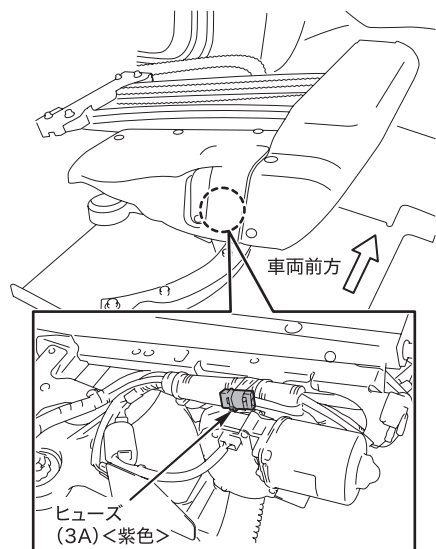
ヒューズ・ヒューズブルリンク・サーキットブレーカーの位置

アドバイス

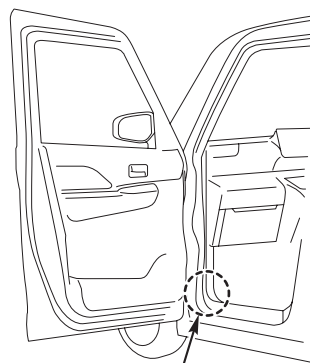
・交換するときは三菱自動車販売店にご相談ください。

●ヒューズ

・ムービングシートのヒューズ（3 A）＜紫色＞は、ムービングシート左側のカバー内に付いています。



・IGN用ヒューズ(3 A)＜紫色＞及び電源用ヒューズ(10 A)＜赤色＞(3個)は、カウルサイドトリム内に付いています。



IGN用ヒューズ(3A)＜紫色＞
電源用ヒューズ(10A)＜赤色＞(3個)

⚠注意

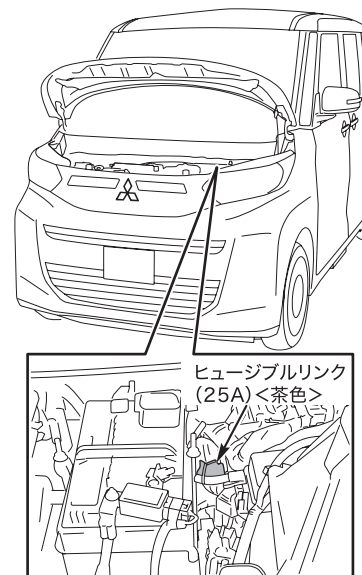
・規定容量以外のヒューズや、ヒューズの代わりに、針金、銀紙などは絶対に使わないでください。配線などが過熱、焼損し、火災につながるおそれがあります。

アドバイス

・交換してもヒューズが切れるときには三菱自動車販売店で点検を受けてください。

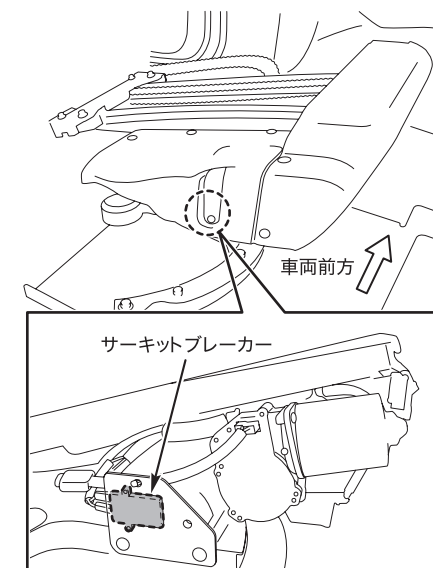
●ヒューズブルリンク

・ムービングシートのヒューズブルリンク（25 A）＜茶色＞は、エンジンルーム内のバッテリー横に付いています。



●サーキットブレーカー

・ムービングシートのサーキットブレーカーは、ムービングシート左側のカバー内に付いています。
・気温や使用条件などによりサーキットブレーカーが作動する場合があります。サーキットブレーカーが作動したときは、温度が下がるまで復帰しません。(温度が下がると自動復帰します)



アドバイス

・サーキットブレーカーが頻繁に作動するときは、三菱自動車販売店で点検を受けてください。

助手席ムービングシートの点検・お手入れ

お手入れ



アドバイス

・ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や、酸、アルカリ性の溶液を使わないでください。変色やしみ、強度低下などの原因になります。

●シート地

・汚れを取るときは、中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませ、軽くふき取ります。そのあと水にひたした布を固くしぼってふき取ります。

●樹脂カバー

・柔らかい布でふいてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませ、軽くふき取ります。そのあと水にひたした布を固くしぼってふき取り、最後に乾いた柔らかい布で水分をふき取ってください。

バッテリーの点検等をするとき

・バッテリーの点検や清掃などでバッテリー端子を外すときは、必ずムービングシートを格納した状態で行ってください。

定期点検整備

・点検整備は故障を未然に防ぎ、お車を安全快適にお使いいただくために欠かせないものです。下記の点検をおすすめいたします。

点検整備項目	点検時期		備 考
	日常点検	6ヶ月毎	
ムービングシートの作動状態 ・入回転、出回転時 ・上昇、下降時	○ ○	○ ○	引っかかり、異音など
取り付け部のガタ		○	

お問い合わせ、ご相談は、
お近くの三菱自動車販売店
までお願いします。

架装販売元



株式会社 丸 文

特 装 部

〒712-8011 岡山県倉敷市連島町連島133-1
TEL : 086-446-8105

日産モータースポーツ&カスタマイズ株式会社

三菱自動車工業株式会社

〒108-8410 東京都港区芝浦三丁目1番21号
msb Tamachi 田町ステーションタワーS